

●プロフィール

1969年 渋谷で味の中華 羽衣（美和商事株式会社）創業

その後六本木、銀座、西新宿、日本橋、立川などで

点心中心の「羽衣チャイナ」薬膳料理の「素門」日本料理「きくもと・稲ぎく」等のオーナーとなる

1980年には現在の銀座の地に本格中華料理羽衣本店を構える

1997年東京商工会議所女性会入会

2000年より理事、常任理事、副会長を経て

2019年より

東京商工会議所女性会 会長

関東商工会議所女性会連合会 会長

全国商工会議所女性会連合会 会長

その他、銀座料理飲食業組合連合会理事、

食品業界女性経営者ネットワーク（WF-NET）銀座花椿通り会、中央区観光協会 等々

●メッセージ

中国では、餃子が日本の正月のお雑煮のように、それぞれ家風が有り、おめでたい時に食べる物であること、そして焼餃子ではなく、蒸餃子や水餃子が本物である、ということを知りました。そして、日本でもこの美味しさを広めたいと思い、「味の中華 羽衣」を創業いたしました。

家業が第二次産業の工場を経営、手形決済であった為、子供心に、社長である母の苦労を見て育ちました。創業当時、飲食の経営は右も左もわかりませんでした。現金商売をしたかったというニーズに合っていたこともあり、「為せば成る の精神」で飛び込みました。以来、50年以上にわたり、これが一生の仕事となって現在に至ります。

これまでの間、のれん分けのフランチャイズ方式や他の飲食店とのコラボ店舗、ディズニープランドへの餃子卸し業等さまざまな業態を試みました。オーナーシェフではなく経営者である為、20年以上前より、飲食店舗の賃貸業や、レストラン業に特化したコンサルタント業に社業の幅を広げました。現在では、これらを

3本柱に美和商事株式会社を経営、関連会社として、他3社のオーナーも務めております。

このように、私は団塊の世代に生まれ、戦後の日本経済と共に生きて参りました。

生き字引のような立場で、若くして自立する女性達へのアドバイスや手助けなどは出来ると思いますので、よきメンターになれるよう、日本女性財団に関わって参りたいです。